

# 東京龍門会報

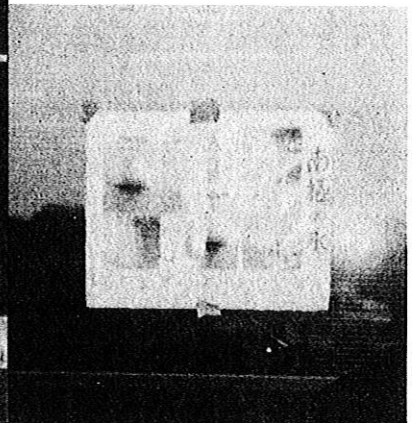
発行所  
 東京都江東区塩浜2-4-20  
 深川物流センター7階  
 今村電機株式会社内  
 電話 03 (699) 3791~2  
 東京龍門会  
 発行人  
 今村 彬

## 加治木高校野球部 九州地区大会出場を祝う!!



←総会風景

“南極の氷、も仲間入り↓



ふる里では麦の穂がそろそろ出揃う頃の五月、昭和63年度の東京龍門会総会が、去る五月二十一日(土)に例年の会場である三州クラブ(品川区上大崎一)で開催された。辰年に因み龍門会の昇龍を占うがごとく、会場には晴耕雨読という大先輩から、社会人一年生になって孤軍奮闘している老若男女の同窓生約150名と、郷里から同窓会長と学校長、それに恩師の吉村道子先生(旧姓小浜、体育担当)が来賓として列席された。

総会は村岡高昭(中43回)副会長の開会の辞で始まり、今村東京龍門会会長、新納同窓会会長そして伊地知学校長それに同窓生を代表して村山喜一氏からそれぞれ挨拶が行われた(次頁参照)。

その後議事の審議に入り長谷場純一(高7回)幹事長より、昭和62年度の事業経過と会計報告が、続いて63年度の事業計画と予算案の説明があり、いずれも満場一致で承認された。それによると母校の野球部が県代表として九州地区に出場、その快挙に称賛と激励をこめ、東京龍門会として僅かではあるが20万円を野球部に助成することにした。そ

の他総会の開催(毎年五月の第3土曜日)、会報の発行、囲碁、ゴルフ、釣り等の同好者の集い等を計画している。一人でも多く、同窓生の参加を呼びかけられた。

### 珍しがられた“南極の氷” と“加治木まんじゅう”

総会を終えパーティに移った。パーティでは郷里の焼酎「さつま国分」(隼人町の川路商店、吉丸正志氏(高3回)より寄贈)で盃を交わし、お互い和氣霽霽、なかでもいま巷で話題沸騰の“南極の氷”(日本水産(株)発売)で、焼酎のオンザロックは好評でいつもより飲けた。さらに懐しい加治木まんじゅう(加治木町の堂免堂製)や、ツチアゲ(加治木町の田中かまぼこ店製)には望郷の念にかられてか非常に喜ばれた。加治木まんじゅうはお土産として持ち帰ってもらった。なお総会の為に村山喜一氏(中30回)と小里貞利氏(高1回)より焼酎の寄贈があった。ご寄贈いただいた方々には紙上をかりて厚くお礼申しあげます。

来年度の総会は、昭和64年5月20日(土)に開催の予定です。是非ご参加ください。

# 必ず返信をお願いします

東京龍門会会長 今村 彬(高2回)

昨年の9月母校の90周年式典が加治木高校で挙行され関東地区からも大勢の方が参加されました。

東京龍門会の名物先輩と慕われていた浜田尚友さんが、長いこと病に臥しておられ、薬石効なくしてこの春他界されました。浜田先輩は何かお話しをとお願いと、気軽に引き受けられ、いつも西郷南洲翁の話を、約束の30分どころか一時間いやそれ以上にわたり滔滔と弁じられたものです。惜しい方が亡くなられ残念に思っております。

それから相撲の井筒部屋親方である福園昭男氏(中45回)が角界に入られて40周年、部屋を起こして15周年というところで、東京龍門会から数名が招待されお祝いたしました。また今日は所用で欠席されましたが、小里貞利先輩が県会議員を含め政界30周年というところで、この四月の激励会には多数の同窓生が参加されました。そして今日ご出席の村山喜一先輩も、衆議院議員として在籍25年になるという

今回三二〇名の方に総会のご案内を差し上げたのですが、返信はその約半分でした。お互い忙しい身なのですが、

会員の方々の所在を把握しておく意味で、今後は出欠にかかわらず、必ず返信だけは寄せただければ幸いです。東京龍門会は纏まりのある会として、他校の同窓会から羨ましがられています。この纏まりある親睦の輪を更に広げていくよう頑張っていきたいと存じますので皆様方のご協力をお願いいたします。

## 90周年記念行事の二コマから



同窓会会長 新納 教 義(中30回)

昨年の創立90周年記念に皆様方から物心両面のご援助をいただき、予想以上の盛大な行事を挙行出来ました事を心からお礼申しあげます。どのような事が行われたかは90周年の式典後に総纏めの報告のために、「樟蔭」という出版物にして皆様方に差しあげてあるようですので、その本をご覧いただきたいと思います。

県下に於ける評価も非常に高く、甲南高校の同窓会の副会長をしている私の友人が言ふには「加治木の同窓会はツ

「エナー」とまさにお手あげの表情でした。甲南高校といえども我々加治木の同窓会にはかなわないう事を彼は卒直に表明しておりました。さて具体的にどういふ事が行われたかは前述の「樟蔭」に記載されておりますが、今日はその中の一つのエピソードをご披露したいと思います。午前中の式典と午後の祝宴との間の一時間、生徒達のクラブ活動に先輩の皆さんも参加し、先輩後輩の暖かい交歓会を持つとういうことになりま

した。クラブ活動の一つに国際理解クラブと言うのがあります。たまたま私が勤務する黎明館に博物館実習という事で、ドイツのボン大学からアンネベルクマンという女子留学生が私の家に来ています。当日彼女を招いて国際理解の為の講演をお願いしていただきました。会場には生徒だけでなく同窓生・PTAの方も沢山見えており、彼女の講演は「日本の祭りについて」で、特に鹿児島島の祭りを見て、これは観光化され本当の祭りという意味が薄れかけ、大切なものを失いつつあるという様な意味の話をされ、これは我々にとつて痛い忠言でありました。講演が終り座談会に移り何でも質問して下さいという事で最初の質問が「加治木に於ける貴女の印象は何ですか」でありました。彼女は二つの事を述べました。その一つは加治木町出身の方ならお気付きと思いますが、朝6時になると役場の屋上からミュージックサイレンが、何の曲かわかりませんが朗々と流れて来ます。この件を捉え彼女は「加治木町民はいつ、6時に起してくれと頼んだのですか、頼まない以上役場は6時

になって町民を目ざめさせる権利は無いはずで。何故町民は役場の横暴を見過ごしているのですか」といふ事を指摘しました。第2点は我が家の後ろに小学校があります。9月に入り小学校の運動会の練習の為にしようが、朝食を摂る8時頃になると毎朝の様に音楽が流れて来ます。すぐ近くですからそれが朗々たる音声なのです。「心静かに朝食を食べようと思っている所へ、要求もしない音楽が流れて来るのは真に迷惑です。そして学校は子供達に道徳を教える所である筈だ、道徳は他人様に迷惑をかけないというのが、道徳の出発点である筈です。その様な事を教えるべき学校が平気で他人様に迷惑をかけている。これは以つての外である」と彼女は言うのです。

彼女の第2の指摘は腹面に効果があり、翌日から小学校の朝の音楽はピタリと止まりました。これは恐らくこの話

かごしま特産  
本格しょうちゅう

金 匠

加治木酒造協業組合  
鹿児島県給良郡隼人町内1103  
TEL (09954) 2-236f

を聞いておられた方の誰かが  
学校にご進進なされたものでは  
ないかと思えます。ところが  
役場の方は依然として続いて  
おります。何はともあれドイ  
ツ留学生のアンネベルクマン  
が話した事は、ヨーロッパの  
民主主義の一番根底にある一  
つの発想であろうかと思いま  
す。こういう事を生徒諸君が  
聞きとっただけでもヨーロッ  
パへの理解の一つの足がかり  
になったのではと考えていま  
す。ただ一つの些細なエピソ  
ードを披露しただけでも90周  
年記念行事が、在学生の諸君

にどれ程大きな効果を与えた  
かを受けとってもらえるので  
はないかと思えます。  
90周年の盛り上がりという  
ものが端的にクラブ活動に表  
われ、野球がそうです。或い  
は進学率が高かった、例えば  
九州大学一つとっても16人が  
合格しています。こういう事  
実はやはり90周年記念に見ら  
れた先輩諸氏の盛り上がりが、  
後輩の生徒諸君に良い反響を  
呼び起こしているのではない  
でしょうかと評価している次第  
でございます。

### いま進学・部活動とも

### 燃えている母校



加治木高等学校長

伊地知武志(中45回)

昨年は母校の創立90周年の  
記念行事に当り、東京龍門会  
の皆様には物心両面にわたり  
大変お世話になりました。お  
蔭で一連の記念行事を無事盛  
大に挙行させられました事を  
心からお礼申しあげます。

さて旧制の加治木中学そし  
て高校始まって以来の事で、  
野球部が県の代表として初め  
て九州大会に出場いたしました。  
県下で2校選ばれもう一

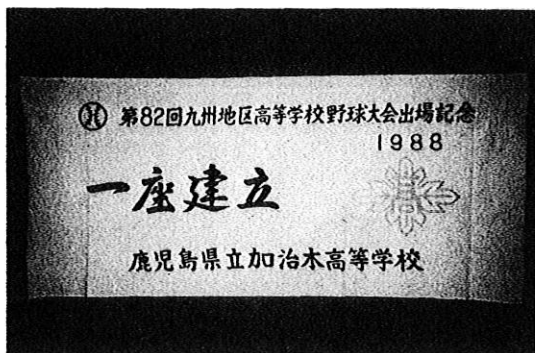
校は甲子園に何回か出場して  
いる鹿児島実業でした。九州  
大会は宮崎であったのですが、  
その時の相手校は福岡代表の  
柳川高校で、柳川高校といえ  
ばご存知の野球の名門中の名  
門といわれる学校で、最初は  
どこまで戦えるかと不安気に  
観戦しておりました。しかし  
3回の表ぐらいまでは押し気  
味に試合を続けておりまして、  
大変素晴らしい戦い振りでした。

生徒たちにとっては感動の場  
であったのではないかと思っ  
ています。野球部支援につい  
ての趣意書を配らせていただ  
きました。90周年の終わった  
後で又お願い事をと些か申し  
訳ないと思いがら回ってお  
りました。しかしそんな良い  
話なら誰もが援助を惜しむも  
のではないというお気持ち  
が強く、実は一週間ぐらいの間  
に目標の50万円はおろか60万  
円以上集まっているという事  
でございます。いま野球部で  
買いたい物といえばピッチン  
グマシンです。現在あるには  
ありませんが他校に比べ球のス  
ピードが違うのだそうです。  
この機械が100万円とか200万円  
とか申しております。設備と  
して咽から手の出るほどの物  
が沢山あるのですが、ピッチ  
ングマシン一つにしても出費  
のかさむ事にご理解をいただ  
き皆様の志をいただければ幸  
いに思っております。

ましたし、地区の大会には40  
ぐらいの部が出場しますが、  
半分ぐらいは優勝旗を持ち帰  
り、準優勝程度では学校に報  
告するのが恥ずかしいといっ  
た雰囲気すらあるぐらいです。  
6割以上の生徒が遠距離通  
学にもかかわらず部活動に取  
り組んでおり、青春を一杯に  
生きていくといった感じが  
たします。単に運動といった  
部活動だけでなく、進学の方  
もかなりの評価も上がって来  
ています。運動にしろ進学に  
しろ根は一緒ではないでしょ  
うか。運動面が良い時は進学  
面も良いように思われます。

最近加治木高校の名が随所  
に出るたびにどうしてかと尋  
ねられるのですが、それは取  
りも直さず創立90周年の盛り  
上がり、それが今ぼつぼつ実  
を結びつつあるのではないか  
と思っております。90周年とい  
うと単なるイベントに終りが  
ちですが、要は今の在学生達  
にそれを機会に、今の在るべ  
き姿は何かということ、学  
校の歴史の流れの中で掴むと  
いう事が最大の狙いではな  
かったかと思えます。まさにそ  
ういうことが実を結んだとい  
うことで、ただ形の上での成  
功というよりは本当に90周年

という事の意義を踏えた式典  
事業であったと考えている所  
であります。90周年記念行事  
は両様相まったいろんな意味  
での成功という事が言えるの  
ではないか、此れも将に先輩  
各位のなみなみならぬ熱意と  
いうものが在学生に受け止め  
られた結果であろうかと、同  
窓生各位に深くお礼申しあげ  
る次第でございます。



なお九州地区野球大会出場  
記念としてタオルを作成しま  
した。タオルの中に「一座建  
立」という言葉を刷り込みま  
した。それは創立90周年が成

○会費納入にご協力を  
○会員所在の情報を

功し、その結果として本校が大変活気づいて来た。その90周年自体を成功させた物は何だったのだろうかと考える時に、それは将に「一座建立」という言葉以外に思いつきませんでした。「一座建立」というのは能楽の言葉で、能楽の一座を経営するという事から出た言葉で、それがいろいろな意味に使われるようになり、例えばお茶の会でお茶の真髓を味わう為には、その場に居合わせた一人一人が心を込めて、密度の高いひとときを持つとうという気持がお互いの中に漲った時に、初めてお茶の真髓は味わえるのだという意

## ご用心!! 同窓会名簿勧誘に



村山喜一(中38回)

いま衆議院の物価特別委員会の委員長をしています。75%の人が損をするというネズミ講やマルチ商法等の悪徳商法というのがあります。この物を買わないと貴方は祖先の霊により不幸な事になりますよという靈感商法というものがあります。このような事を無くする為をやっているのですが、国民の生活を守る立場からやらなければと思っていました

味に使われているそうです。それがもつと広く使われ一つの事が成功する為には、その場に居合わせた者達が心を込めて盛り上げて行こうという気持になった時、初めて事が成功するという意味であろうかと思えます。本校がいま盛り上っているというのは、本校に関わりを持たれたいろいろな方々の心からのご支援があるからだという事で、お礼の意味を込めてこの言葉を使わせていただきました。東京龍門会の皆様に感謝の気持を込めて一言近況を報告させていただきますました。

ら、私の恥をさらけ出すような事がありました。それは今日ここに持って来ました職業別同窓会名簿でございます。鹿児島県立加治木高等学校・昭和63年版となっております。あたくも母校が出したような同窓会名簿になっていきます。私はまた母校も90周年を迎え、学校で同窓会名簿を作るのが大変だから専門家が職業別に分類し、新しく処理する

ようになったのか、これは良い物が出来たと思ひ、申し込みました。しかも広告まで付き合いました。ところがその会社の方から金を送れときました。普通はこの様に広告を掲載しましたから金を送れというのですが、現物も無いのに先に金を払えとは怪しいと思ひ、会社の方に抗議しましたら送って来たのがこれです。校長先生にお見せしましたら、全く母校とは無関係な物で、見ただけでは成程加治木高校の同窓会が出した様に見えるのです。まさに幻覚状態に落ち入れますので、この様な商法を幻覚商法と呼ぶのだそうです。

いま全国で110校位を扱っているという事です。全国には何千という高校があるわけで、名簿掲載料一万円広告料五万円といった具合に金を集めているわけです。ただ下の方に小さく同窓会とは関係ありませんと申し訳的に書いてあったそうですが、私はもう眼鏡を外さないと見えない年になりましたのでこれには困り果てました。しかし契約は契約ですから金は払いました。これからこういふ不当な商売が出て来るのではなから

うかと思ひます。これは一つ自分の良い反省材料としまして、同窓の皆様にも報告しておき、この様な商法は今後規制していかなければと思ひている次第です。

今年8月で衆議院議員25年になり、国会で永年表彰を受けることになりました。昭和35年初めて中馬辰猪先輩と一緒に衆議院に当選しまして、今まで当選したから、何々委員長になったからということでお祝いは一切した事はありませんでした。しかし私の後援会長をしている松下兼末さ

### ○●へ同好会だより○●○

#### 囲碁の部

初の

#### 国分和夫杯は

長野氏に

東京龍門会の囲碁同好会に、前会長である国分和夫氏(中24回)より優勝杯(写真)が寄贈された。



ん(高2回)が、一回ぐらいいお祝い事をしなければいけないので、恥かしい思いをしながらそれではという事になり、何れご案内を差しあげたいと思っております。

幸い同窓生の小里君が交通部会長をしておられますから、九州新幹線問題等は九州全体の大きなプロジェクトとして、地元の問題は超党派で行こうと頑張っている所でございます。皆様お元気でお過ごしのことをお祈りして挨拶に変えさせていただきます。

今年の囲碁大会は、その優勝杯の争奪戦と相成り、大会は冒頭から熾烈を極め会場は熱気でムンムン、結果は長野忠雄氏(六段、高7回)が国分和夫杯を手にし初の優勝杯の獲得者となった。東京龍門会の囲碁大会もこれを機に巻土重来を狙う猛者共で、益々盛り上がりそう。そしたらマスコミの取材の対象になりかねない。いやはやどうしようか、今から心配である(ムダかな?)。

それはそうと日本棋院在職の最勝寺哲也氏(高1回)から、プロ囲碁名人サイン入りの扇子を参加賞として贈られた。厚くお礼申し上げます。なお次回は昭和64年1月21日(土)に予定されている。ふるってご参加ください。(係)